



# ふるさとを愛し ともに学び 伸びゆく ふじさわっ子

学校教育目標「なかよく かしく たくましく」



深谷市立藤沢小学校 児童数 494名(男子263名 女子231名) TEL048-571-2107



## さらなる成長を目指して

深谷市立藤沢小学校長 松澤 由美子

2学期が始まりました。子供たちの元気な顔を見ることができ、うれしいかぎりです。

1学期の終業式で子供たちに3つの課題を出しました。その内容は学校だより(第5号)でも「本物は続く、続けると本物になる」というタイトルで保護者の皆様にもお知らせをいたしました。夏休みの様子はいかがだったでしょうか。一人一人の表情を見ると、子供たちが充実した夏休みを送ってきた様子がうかがえます。保護者の皆様のご理解ご協力の賜と深く感謝申し上げます。子供たちが夏休みを自律的に生活するのは容易なことではありませんが、2学期につながる夏休みになったと受け止めています。

さて、2学期は、汗が噴き出るような暑さで始まり、稲穂が実り木々が色づく秋を経て、木枯らしや雪で凍える冬まで続く長い学期です。この長い2学期は、様々な行事を通して子供たちが成長できるチャンスのある学期です。残念ながら新型コロナウイルスの感染拡大は止まりませんが、藤沢小学校では、子供たちの健康・安全を第一に考えながら行事を実施し、子供たちが自分の持ち味を生かして学校生活を送ることができるよう、支援してまいります。そのためには子供たちには、一人一人が目標を持つことと、目標の達成に向けての具体的な方策を立てて努力することの大切さを伝えていきたいと考えています。始業式では子供たちに、アメリカ大リーグ、マリナーズで活躍したイチロー選手の言葉を引用して、1. 自分の頑張りを人と比べないこと 2. 今の自分より少し上の目標を設定すること 3. 努力は少しずつ積み重ねること 4. 思い通りいかないこともあるが、続けること を伝えました。(詳細は学校HP 校長室のページでお読みください。)

ご家庭と学校とで子供たちを温かく支援することが、子供たちの伸びに繋がると考えています。今学期もご理解ご協力をよろしくお願いいたします。



## 藤小ギャラリー

今回は夏休み中の様子を紹介いたします。

左上から 職員で備品の点検整備をしました。 6年生が部活動体験に行きました。 子供たちが植えたユリが立派に咲きました。

左下から 学校代表が子ども議会に参加しました。 環境整備は用務員さんが一手に引き受けています。 5年生の藍が順調に育っています。



27	土	PTA 奉仕作業※中止	13	火	
28	日		14	水	アルミ缶回収日
29	月	特日 3 始業式 一斉下校	15	木	特日
30	火	学年朝会 給食開始 委員会	16	金	運動会準備
31	水	業前運動	17	土	運動会
9/1	木	特日	18	日	
2	金		19	月	敬老の日
3	土		20	火	クラブ
4	日		21	水	
5	月	特日 一斉下校	22	木	
6	火		23	金	秋分の日
7	水		24	土	
8	木		25	日	
9	金	校外学習 (2年)	26	月	運動会振替休業日
10	土		27	火	全校朝会 林間学校 (5年)
11	日		28	水	アルミ缶回収日
12	月	特日	29	木	特日
			30	金	

厳しい残暑が続いています。学校では気象状況を注視しながら、外での活動を中止、変更するなど、安全第一で柔軟に対応していきます。保護者の皆様には引き続き、5月31日付で配布した『登下校時の熱中症防止対策について』に沿ったご配慮をお願いいたします。なお、登下校について、以下の2点についてご家庭での注意喚起をお願いいたします。

- 1 おしゃべりをしない。
- 2 距離を空ける。

### 運動会公開人数に変更があります。

今年度の運動会は、前号でお知らせしたとおり、2学年合同で1時間ずつの実施といたしますが、1点変更があります。市内の新型コロナウイルスの感染状況を鑑み、公開は各家庭2人までといたします。楽しみにされていたご家庭も多いかと思いますが、ご理解、ご協力をお願いいたします。

## 2学期に【目指す児童の姿】は、『努力』！

学校教育目標「なかよく かしく たくましく」の実現に向け、藤沢小学校は、2学期の重点目標として、以下の「児童の姿」を目指し、取り組みます。

### ○夢や目標をもって、粘り強く努力できる子（努力） 【かしく・たくましく】

ふじさわっ子が夢や目標に向けて粘り強く『努力』する、充実の2学期となりますよう、**保護者の皆様、地域の皆様**、応援をよろしく申し上げます。



この夏休み、子供たちの命が失われるという事件や事故が少なからず報道されました。そのたびに、子供たちに「いのちの大切さ」を伝えなくては、という議論が起こります。そしてその都度、果たして私たち大人はいのちの大切さをわかりやすく子供たちに伝えられているのか、と考えます。そんな思いを抱えながら、1学期の全校朝会で子供たちに話したのが以下の内容です。ご家庭でお子さんと一緒に読んでいただき、「命」について話題にする機会をつくっていただくとありがたいです。

### 命 ～世界で一番大切なもの～

今日は世界で一番大切なもののお話をします。それは、大人にも子供にも、男の人にも女の人にも、お金持ちにもそうでない人にも、どこの国の人にも、誰にでも平等に1つずつ与えられているものです。

それは、命です。命は一人に一個しかありません。一度失くしたら取り戻せません。いくら「返してください」とお願いしても、いくらお金を払っても取り戻せません。だから、命は大切なのです。命を大切にしてください。まず、自分の命を大切にしてください。そして自分の命と同じくらい、自分以外の人の命も大切にしてください。

人は生きていく上で、絶対に「やらなければならないこと」と「やってはいけないこと」があります。これには理由などありません。理由はないのに絶対に「やらなければならないこと」と「やってはいけないこと」って何だろう？「やらなければならないこと」とは「自分の命を大切にする」ことです。「やってはいけないこと」とは「自分の命を捨ててはいけない」「人の命を奪ってはいけない」ということです。何があっても「自分の命を捨ててはいけない」「人の命を奪ってはいけない」。

でも、毎日の生活の中で嫌な事や悩むことがあったりすると、命を大切にできない気持ちになってしまうこともあるかもしれません。そんなときは必ず相談をしてください。皆さんの近くには家族や、先生がいます。みんなが皆さんのことを大切に思っています。だからきっと助けてくれます。相談をすることで、命を守ることができます。このことを忘れないで生活してください。

みなさん、自分の命も他の人の命も大切にできる人になってください。